



TCA ニュース

= 2002年1月発行 = 【No. 158】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しみ 行楽・旅を楽しみ 道楽・道を楽しみ 友楽・友を楽しみ 遊楽・遊びを楽しむ



自転車社会の未来

自転車活用推進研究会会長
帝京大学経済学部教授
東京サイクリング協会
会長 小杉 隆

新年明けましておめでとうございます。

今年、私は長年あたためてきた自転車に関する法律の見直し作業を進める決意を固めている。

99年2月に超党派の国会議員を糾合して「自転車活用推進議員連盟」を発足させ、自転車活用と関連の法律の見直しを推進することになったが、一昨年の総選挙で思わぬ不覚をとり、議員連盟を谷垣禎一会長、

原田義昭事務局長に託して、在野の研究会を創設した。

この「自転車活用推進研究会」は学者や研究者だけでなく、地域で自転車問題に取り組んでいる方々や学生、マスコミ人など広範囲の人材を巻き込み、議員連盟の議員たちの参画も得てほぼ一年半にわたる議論を積み重ねてきた。

こうしたプロセスの中で、国土交通省による道路構造令の改正があり、新設道路には歩行者や自転車の走行空間確保が義務づけられた他、京都議定書の実行に寄与するものとして自転車の有用性にも国、自治体はじめ各方面が目をつけるようになった。周囲の環境は徐々に整いつつあるように思う。

自転車を社会の重要な交通手段として位置づけるため、自転車基本法や道路交通法などの点検が必要なことは言うまでもないが、自転車が真の市民権を勝ち取るには、利用者の正しい認識が不可欠である。

研究会では、自転車の関係した交通事故の増加、安売り自転車の不良や耐久性の欠如による事故の表面化など、従来の自転車の不適切な駐輪以外の問題にも着目している。自転車ライダーのマナー、買物・通勤以外の自転車の活用、安ければいいという低価格車志向と格安自転車の大量輸入、欧米との技術競争などの問題を議論している。

卑近な例をとれば、歩道共用の行き過ぎ、無灯火・無警鈴で我が物顔で走り回る一部の不心得な自転車への批判が、研究会内部でも強く示された。

たくさんの議論のなかで、自転車のマナーは私たちサイクリング協会が率先して

範を示さなければならない課題だと考えている。

免許の不要な自転車は、利用者にマナーや交通ルールを徹底させようとしても難しい。

最も効果的と考えられるのは義務教育課程での講習、訓練だが、自転車通学は全国ほとんどの自治体、学校で禁止されている。通学途中で事故に遭えば学校の責任が問われる。

自転車通学では足腰の鍛錬ができない、校庭が駐輪場化する、所有する自転車の優劣で家庭の経済状況が露呈する、など反対論は枚挙のいとまがない。だが子どもたちの日常に自転車が根付いている事実に関係者がもっと確かな認識を抱くべきではないか。



教育機関である学校が、自転車の利用と自分自身を守るルールを教えることにさほど熱心でないことに首を傾げざるを得ない。

地域の警察や交通安全協会、各地のサイクリング協会などの地道な努力は続いている。

研究会は法律や制度の見直しについて提言をまとめ、議員連盟を通じて議員立法までの活動を視野に置いている。こうした活動とは別に、サイクリング協会の各位が、自らを模範とする自転車の正しい楽しみ方を示す活動により熱心に取り組んで欲しいと願う。

自転車が大好きな一人として、2002年はより愛され、健康と環境に寄与する自転車をアピールする年にしたいと考えている。皆様のご賛同とご協力をお願いする次第である。

2001年を送るサイクリストの夕べ

21世紀最初のTCAの忘年会は、12月7日(金)午後7時から文京区民センター2A集会室で行われました。

吉川顧問、JCA他の来賓を含めて54名の方々が出席しました。

また、多くの景品、ご寄付を頂きありがとうございました。

事務局からのお知らせ

メールアドレスを連絡して下さった方にTCAニュースを電子ファイル(pdf)で送っています。郵送より早くカラーで見ることができます。

JCAインターネットホームページ URL : <http://www.j-cycling.org/>

JCAのホームページにBBS(電子掲示板)があります。

みんなで書き込みをして、情報交換の場として利用しましょう。

【12月末現在 会員数 280名】

REPORT

秋のTCAラリー 「秩父さくら湖」に参加して

TCA会員：古藤田 弘

11月23(金)～24(土)に行われた秋の一泊ラン「秩父さくら湖」の様子をレポートします。小生は7月にTCAに入会し、初めて一泊ランに参加しました。

スケジュールは、各自自由なコースでサイクリングを楽しみ、宿(民宿「ささら」)に15時頃集合するというもので、当日は風もなく非常に暖かな最高の一日でした。小生は西武秩父駅まで輪行し、西武秩父駅集合のメンバーに合流しました。

TCAの先輩の皆さんは輪行お手のもので、テキパキと組まれているのには関心しました。特に加藤先生の唐獅子模様の輪行風呂敷には驚きました。

12時過ぎにスタート、まずは腹ごしらえと秩父名物手打ちそば「こいけ」を目指しました。こじんまりとした地味な外観ですが行列が出来るほどのお店でした。まずはビール！秩父ビール(地ビール)と、そばビール(なぜか原産国はアメリカ・オレゴン)を飲みTCAペースに・・・。

浦山ダムまでは厳しい登りで結構苦しかったのですが、晩秋の静かなサイクリングを満喫できました。さらに20分程度で目指す民宿「ささら」に到着。ゆったりとしたきれいな民宿です。

日没後に「あきる野」から自走して来た菊地さんが到着し、参加者20名全員揃いました。夕食は鹿鍋をはじめ、鹿刺、岩魚の塩焼や天婦羅などご馳走に満足しました。中でも初めて食す鹿肉たっぷりの鹿鍋は、くせもなく驚く程美味でした。



アルコールも進み自己紹介。参加の皆さんは自転車で走るのが大好きで、いろんな楽しみ方、目的を持っており、それは年齢なんて全く関係ないものだと感じました。宴会終了後は部屋に持ち込んだアルコールで二次会へ・・・

昨夜あれだけ飲みましたが、翌日の朝ご飯はおいしく、さらにビール、日本酒を召し上げる方もいるほどでした。

記念撮影の後、小生は加藤先生と一緒に西武秩父発10:47の電車で往路と同一のルートで帰路につき、12時過ぎに町田に到着しました。

加藤先生は途中の正丸で下車されま

した。名栗湖方面、山伏峠方面などのコースで帰路につく方もいました。

今回多くの方と一緒に晩秋の秩父路をサイクリング出来て非常に有意義でした。

会員の皆さんも是非一度参加してみる事をお奨めいたします。最後に、幹事の小川さん、企画運営された事務局に感謝いたします。

50th 東京いいところ自転車散歩 〈東京再発見〉

通算50回目の今回のフリーランは、3度目の忠臣蔵です。やはり、この時期は忠臣蔵がふさわしいテーマのようです。

特に今年は、300年祭ということで港区がスタンプラリーを実施しており、泉岳寺も整備されていました。

元禄14年(1701)3月14日に江戸城内松の廊下の刃傷事件がおこり、元禄15年(1702)12月14日に吉良邸討ち入りがあったので300周年なら来年のはずです。ところが、三回忌や13回忌は、数えでやるので吉良さんの300回忌なのかな？それなら両国の吉良祭だけの話で港区や泉岳寺が動くのは変です。どうやら、討ち入り本懐成就の数え年300年と言うことのようにです。



徒歩で回っている人達もいましたが自転車の強みで江戸城松の廊下～吉良邸跡、泉岳寺までの引揚げコースと浅野内匠頭長矩切腹の地や義士達が預けられその後切腹した屋敷跡、その他の関連する場所を訪ねて回り、パレスまで戻る約30kmの周回コースでした。

参加者の数は、隅田川の親水テラスでの昼食の時に最大30名となりました。

なお、会員では無いのですが参加してくれた新庄さんのホームページでも今回のコースについて詳しく紹介されています。

URLは、<http://www6.airnet.ne.jp/ryotaro3/> です。

この『東京いいところ自転車散歩 東京再発見』のネーミングは、数人の役員で日曜日にパレスが終わってから飲みに行った際に出たものです。



以前からポタリングという言い方は、あったのですが、もっと良い表現は無いだろうかと話し合った結果です。

単なる呑んべの集まりではなかったのです。

平成4年9月から続いております。

特に参加費を集めず、気楽に顔を出して都合の良い範囲と一緒に走るという企画です。

比較的好評なので、今後も続けて行きたいと思います。

良い企画、走ってみたい場所等があれば、事務局まで申し出て下さい。